

みょうじん

明神かつら

指定種別：市指定文化財

指定日：昭和 48 年 2 月 27 日

所在地：釜石市栗林町

樹種：カツラ

学名 *Cercidiphyllum japonicum*

SIEBOLD et ZUCCARIN

科：カツラ科

樹齢：推定 500 年以上

寸法：樹高 37m 幹周 11.4m 根元周 17m



明神かつらは、栗林町砂子畑集落の西側に所在する岩手県内屈指の巨大カツラです。明神様の御神木として昔から畏敬崇拝されてきた老大木で、祠は「桂明神」と呼ばれています。

かつらは他の樹種にくらべ、側枝や不定芽の発育が旺盛で、明神かつらの場合は、中心の樹幹の周囲から多数の新条が萌発成長して、「千本かつら」になったものです。

この成因は、中央の主幹が枯死、腐朽していますが、おそらく 500 年以上の巨木であったもので、周囲から伸長した側枝が林立して、枯損したものを加えると 16 本にもなります。

明神かつらは巨樹であるというだけでなく、植物生態学上貴重な存在となっています。

